

レッサータロットで断ち札トリテ

Trick Taking Game "Trump Breaker" for LesserTarot

人数: 3~5人
時間: 30~60分
年齢: 10才以上

ゲーム創作者: フェスカ・つじむら
ルール発行者: 按理具庵
発行日: 2026年10月18日

暫定版: 2026.08.06 Rev. 060

概要

標準ポーカーを改良するためにレッサータロットと云うカード構成を再発明しました。(4+1)スートの構成が似ているのでタロットの名を冠しています。タロットは元はトリックテイキング(以下「トリテ」と省略)ゲーム用のカードであったことはあまり知られていません。

この再発明したレッサータロットでトリテをしたらどうなるかと考えるのは必然です。新たな追加札は少ない枚数なので「切り札」に勝てる特殊な強い札として扱うとして「断ち札」と命名しました。

レッサータロット54の構成

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
スペード												
ハート												
クラブ												
ダイヤ												

エクストラ (追加札)

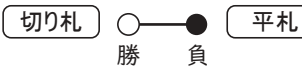
Jo	Jo	A	A	A	A
ker	ker	♦	♣	♥	♠

{ = Ex A(エース)札4枚とJoker(ジョーカー)2枚の計6枚を
無スート無ランクの特殊な同一の追加札とみなす }

基本構造

切り札はリードスート札より強いと云う単純構造

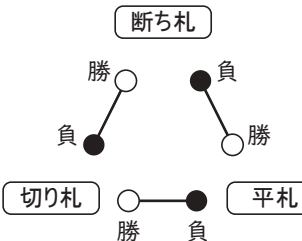
従来のトリテ



断ち札トリテ

断ち札は切り札に勝つがリードスートの平札に負ける三角関係の構造

断ち札は場に切り札があると最強となるが、無いと最弱となって平札に負ける。
ただし複数枚の断ち札が出ると対消滅して場に無いことになって負ける。



経緯の詳細

標準ポーカー役の改良のためにジョーカー2枚とエース4枚を追加の特殊札とみなすレッサータロット54の構成を発明しました。

レッサー (lesser) はレッサーパンダとジャイアントパンダ(いわゆる白黒柄の大熊猫)の関係と同じく、従来の大きな78枚構成のタロットに対して、「より小さい」の意味を込めて名付けました。

元となるタロットは今では古い用途で認知されていますが、実はトリックテイキングゲーム史上の革命ともいえる「切り札」ルールの発明と共に生まれた(4+1)スートのゲーム用カードなのです。

切り札専用の追加カードは標準4スートとは全く別の切り札スートとして扱われているので(4+1)スートと表現しています。一時期は普及したのですが、後に「4つある標準スートの1つを切り札スートとみなして扱う」と云う破壊的な革新ルールの発明によりゲーム用タロットカードは廃れてしまいました。(後に古い用カードとして復活)

タロットの追加札は22枚であり、標準スートのランク数(R=14枚)より多い枚数であったのに対し、レッサータロットでは追加札の枚数は、このRより少ないことが特徴であり、さらにタロットの追加札にはあった独自のランクがレッサータロットでは無いことも特徴です。

正にゲーム用タロット構成の再発明なのですが、現在は標準の「みなし切り札」のルールはそのままに、新たに追加する札を超(スーパー)切り札として、従来の切り札に勝てるように考えたのがレッサータロットのトリテです。ただし単純に切り札に勝てる最強札とするのでは面白くないので特殊な制限を加味することでゲームバランスを調整します。

切り札は英語でトランプ(Trump)ですので、新たに追加する札は「抗トランプ」の意味でアンチトランプ(Anti-Trump)になりますが、「切り札」と云うすばらしい意識に対応させて和名を「断ち札」と呼ぶことにします。

この「断ち札」を使うトリテなのでゲームとしての名前は「断ち札トリテ」として、これから英語に逆意識して「Trump Breaker」(切り札を壊す者)としました。

カード構成

LesserTarot60_S4R13B6E2

	A	2	3	4	5	6	7	8	9	10	J	Q	K
♠													
♥													
♣													
♦													
断ち札 Breaker													
逃げ札 Excuse													

(52+2)枚のトランプ構成に新たに6枚の「断ち札」を加えた60枚構成をトリテ用の標準レッサータロット構成とする。断ち札6枚はポーカー用が元であるが、4人制で配ってほぼ各1枚が割り当てられる枚数として適切な枚数である。
また60枚は3~6人で均等配りできる最適な枚数のため採用とした。ジョーカー2枚は逃げ札として割り付ける。

LesserTarot52_S4R12B4

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	J	Q	K
♠												
♥												
♣												
♦												
断ち札 Breaker												

S4R12B4の52枚構成をトリテ用の暫定の構成とする。主流のトリテが4人制であるので、配り切り可能な52枚と同じとする。断ち札はA札の4枚のみとなる。

断ち札

断ち札は無条件でいつでも出せる。

場に切り札があるとき、断ち札は切り札に勝つ。ただし場に複数枚の断ち札が出たときは、断ち札は全て対消滅して切り札側が勝つ。

場に切り札が1枚も出ていなければ、断ち札はリードスート札に負ける。

マストフォローに従って手札にリードスートがあれば、その札を出さなければならないのがトリテの標準ルールでゲームの大原則である。

断ち札はランクの無い「ゆるい化け札(スートワイルドカード)※」の扱いとするので、手札にある断ち札はリードスートに化けて出すことができるし、他のスートに化けているとすれば出さない選択もできる。

断ち札をリードする場合は化け札(任意のスートとみなせる)扱いなので、次の手番の人はどのスートを出してもよい。実質的にそのスートがリードスートになる。2番手以降の人が続けて断ち札を出すことも可能だが複数枚の断ち札が出ることで負けが確定する。リードスートは断ち札を出したその次の人が決めることになる。もし全員が断ち札を出したら、リードスート不定のままとなり、そのトリックは勝者無しとする。札は獲得できないし獲得トリック数にもカウントされない。ただし次のトリックのリード権は継続してリードプレイヤーが得る。

※「ゆるい化け札」の意味は手札に在る内は持ち主が自由にスートを決められるということ。ちなみに「きつい化け札」は反対に自由に決められないこと。例えば「きつい化け札」なら必ずリードスートとみなされてフォローの対象になる。

断ち札 (Braker) ★

断ち札は固定で枚数が少ない。

切り札 (Trump) ◆

切り札は4つのスートから1つ適切な方法で選び決められる。

平札 (plain suits) (Normal) ○
△
□

平札(ひらふだ)は切り札に指定されなかった残りの3スートの札である。

逃げ札 (Excuse) ☆

逃げ札はいつでも出せるが必ず負ける。

逃げ札

逃げ札は断ち札と同じく「ゆるい化け札」の扱いで、マストフォローに従わずいつでも自由に出せる。しかしながらトリックには必ず負ける。
逃げ札をリードした場合は、手番が次の人が出した札がリードスートとなる。1人だけ逃げ札を出し、残り全員が断ち札を出した場合は逃げ札のみが残って、唯一の例外でトリックに勝つことができる。
場に逃げ札が複数枚出ると対消滅する。

平札	切り札	断ち札	勝	備考
○	○	—	切り札	通常のトリテと同じ
○	—	○	平札	切り札無しで断ち札是最弱
—	○	○単	断ち札	切り札有りで断ち札是最強
○	○	○単	断ち札	
—	○	○複	切り札	断ち札が複数枚で対消滅(存在しない扱い)
○	○	○複	切り札	

比較表

	切り札	断ち札
スート	有り(切り札スート)	無し(ワイルドスート扱い)
ランク	有り(大きい数が強い)	無し(同一扱い)
種別の強さ	リードスート札に勝つ 断ち札に負ける	切り札に勝つ リードスート札に負ける
同種複数枚	ランクの高い方が勝ち	対消滅して共倒れ負け
リード出し	手札に全スートが揃って いると出せない(独自ルール)	いつでも出せるが、リード スートは次の人が決める
フォロー	リードスート札があれば 切り札は出せない 切り札のリードには、切り札 があれば必ず出す	リードが何であっても 断ち札を出す・出さないは 自由に選べる (逃げ札と同じ)

切り札スートの決め方

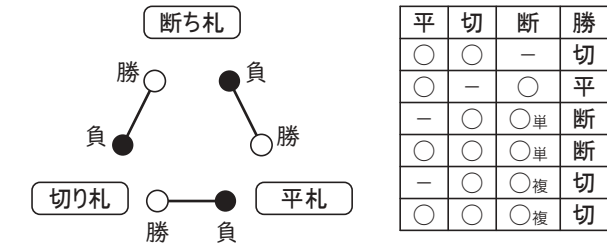
既存トリテのルールに従って適切に決めればよい。
ここでは簡単な方法でありながら、多人数制トリテにも対応でき、表示
札があって初心者でも分かり易く、手札情報の一部が公開されて高度
な心理戦が楽しめる方法として、以下を推奨しておく。

入札多数決方式(親決めと表示札)

- (1)全員が手札から切り札にしたいスートの札を1枚選び伏せて出す。
 - (2)同時に表に開いてスート毎の枚数を比較する。
 - (3)最も多いスートを切り札スートと決める。最初の親(ファースト
リード)は那の中で最もランクの高い人とする。
- スート枚数が同じで多数派が決まらないときは、同数最多の中で最もラ
ンクの高い人のスートをリードスートとする。さらに最高ランクも同じ場合
は、那の中でよりディーラー(カードを配った人)に近い人(右回り配り
で先に配られた人)の出した札を切り札スートとする。親は切り札に決まった
札を出した人とする。
- 親は切り札スート表示札として、その札を表向きに出したままとする。こ
の札は手札に同スートの札が残っている間は使用できない。他の人は出
した札を手札に戻す。

ゲームの勝者

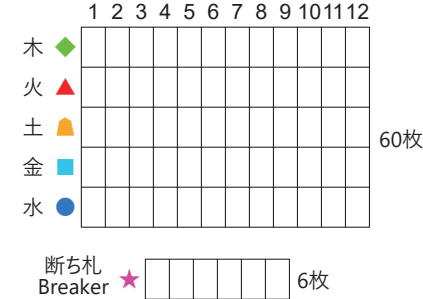
獲得トリック数の最も多い人を勝者とする。
獲得トリック数が同数の場合は、那の中で切り札の枚数が一番多い人
を勝者とする。切り札の枚数も同数なら、那の中で断ち札の枚数が最も
多い人を勝者とする。さらに断ち札の枚数も同じ場合は、那の中で最も
後の回にトリックを取った人を勝者とする。



その他のカード構成

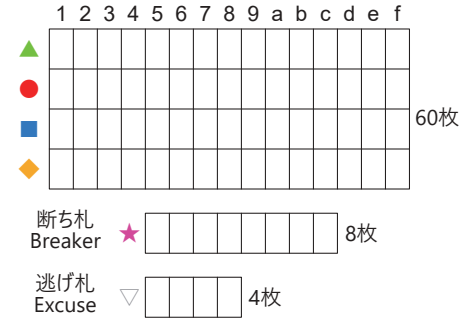
レスサータロットの構成は(4+1)スートで追加札の枚数が少ないことが
特徴ですが、より一般化して(5+1)スートや(6+1)スートの構成も拡
張版のレスサータロット構成とします。
陰陽五行札FESCAは五行札で5スート構成で、追加札に空無札と太
極札が使えます。基本4スート構成でもランク数を増やして総枚数を多く
し多人数(5~8人)制対応のデッキも考えられます。
ゲーム用タロットカードに断ち札を追加する拡張タロットもあり得ます。

LesserTarot66_S4R12B6



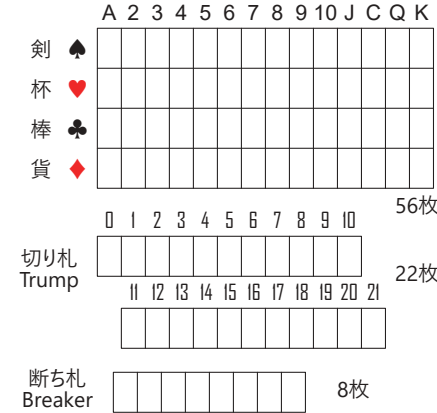
陰陽五行札FESCAを
用いた構成で、全78
枚から陰陽札12枚を
除く66枚を使用する。
五行札を5つの標準
スート札とし、空無札
と太極札の6枚を断ち
札とする。

LesserTarot72_S4R15B8E4



4スート15ランクの
16進数でランク表
記された拡張トラ
ンブ様式のカードデ
ッキで、4つのスートは
図形と色で表示さ
れる。
この60枚構成に断
ち札8枚と逃げ札4
枚を加えた72枚構
成を大レスサータ
ロットと呼ぶ。

LesserTarot86_S4R14T22B8



標準78枚構成のタ
ロットに、断ち札8枚
を加えた拡張トラ
ット86枚の構成
5~7人の多人数制
トリテ用

切り札は固定でラン
ク0は逃げ札の扱い
とする。

ジャンケントリテ
Trick Taking Game "JANKEN TORITE"

人数: 3~5人
時間: 30~60分
年齢: 10才以上

ゲーム創作者: フスカ・つじむら
ルール発行者: 按理具庵
発行日: 2026年10月18日

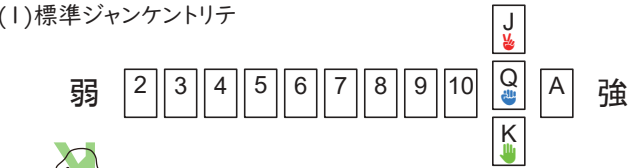
暫定版: 2026.08.04 Rev. 0.10

過去作品にゲーマージャンケンの要素を取り入れたゲンジャントリテが
あります。これは切り札にグー・チョキ・パーの3種の循環ランク構造を設
けたトリテです。後にトランプを用い、絵札を切り札とするコートタロットで
J(チョキ), Q(グー), K(パー)と割り付けて遊ぶことを考えました。

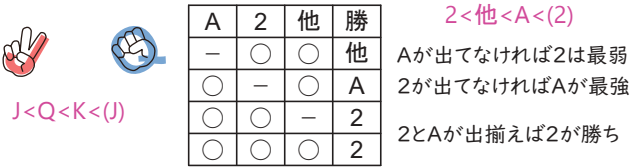
ジャンケントリテは単純に各スート毎にJ・Q・Kにジャンケンの循環ラン
クを付けただけのトリテです。リードスートまたは切り札スートのみがランク
勝負に関わるため、割り付けたジャンケン手は同じ手が重なることがあり
ません。すなわち同スートで同じ手のあいこが発生しないため、単純なジ
ャンケン勝負になります。J・Q・Kの3手が出揃う三すくみのあいこは起こり
得ますが、この場合は引き分け共倒れ負けとして、その他の札でランク勝
負判定とします。A札の扱いで異なるジャンケントリテが考えられます。

- (1) A札を最強ランクとして扱う。(標準的なトリテでの扱い)
- (2) A札を最強ランクとするが、ランク2に負ける下剋上を適用する。
- (3) A札を最弱のランク1として扱う。またはA札4枚を未使用とする。
- (4) A札をジャンケンの手に組み入れる。

(1) 標準ジャンケントリテ



(2) 下剋上ジャンケントリテ



(4) アドバンス・ジャンケントリテ(四手ジャンケントリテ)

